



アクシネットジャパンインク

IBM i(旧IBM AS/400)のデータ連携処理をノーコードで再構築 システム変更にも柔軟に対応可能なデータ連携基盤を低コストで内製化

アクシネットジャパンインクは米アクシネットカンパニーの日本法人で、ゴルフ用品ブランドであるタイトリストとフットジョイの商品を取り扱っている。同社では、米国本社主導のもと、2021年までに基幹システムをERPシステム「Infor M3」にリプレイスするプロジェクトが始まった。IBM iで構築された現在の基幹システムでは、周辺システムとの連携処理やレポート作成などもIBM iで複雑に作り込んでいるため、新規に導入するERPシステムだけでは対応できない連携や業務が多く存在していた。そこで、ASTERIA Warpを導入し、データ連携処理をノーコードで内製。開発工数を削減し、スムーズなプロジェクト遂行に貢献している。

課題・目的

- ERPシステム「Infor M3」は米国本社が管理しており、国内の業務に合わせたカスタマイズが困難
- 基幹システム刷新に伴い発生したデータ連携や不足機能が多く、期限内のプロジェクト遂行のためには開発工数を最小限に抑える必要があった
- プロジェクトの開始当初、データ連携処理の開発について予算化しておらず、大きな投資ができなかった

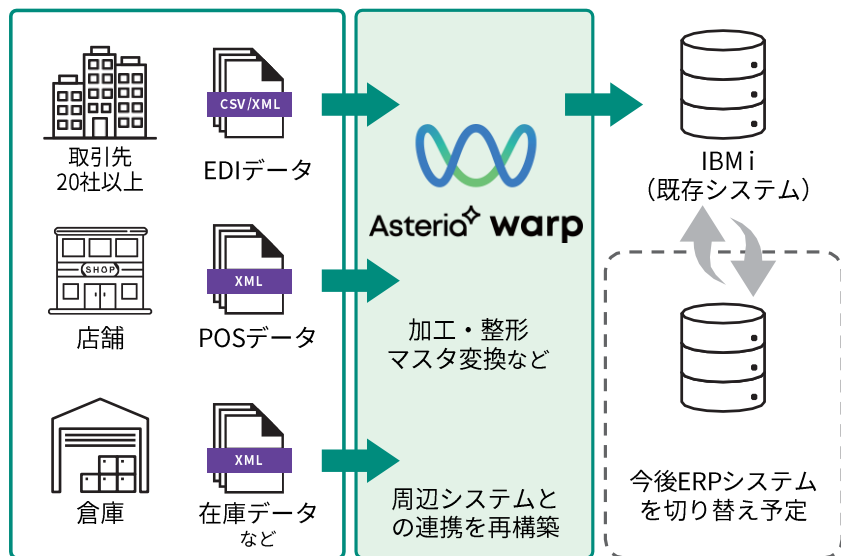
選定ポイント

- 豊富な導入事例とミッションクリティカルなシステムでの稼働実績
- ノーコードで使いやすく、内製で開発・運用が可能
- サブスクリプションかつ低価格のCoreエディションがあり、スタートに適している
- 予算確保後、Coreで作成した処理が上位エディションでも利用でき段階的な導入が可能

効果

- 20社以上の取引先フォーマットに合わせたEDI・店舗POSデータの連携、倉庫システムなどの連携を内製で迅速に対応
- プログラミング未経験者が開発できるほど習得が容易で工数を大幅に削減
- 月額6万円という低コストで導入し、システムの成長に合わせて成果物やノウハウをそのまま上位エディションへの移行ができた

システム概要



導入・開発のポイント

- システム切り替え時は接続情報やマッピングの変更のみで対応が可能
- 販売を担当した株式会社日立ソリューションズ・クリエイトの手厚い支援によるスムーズな導入
- 仕様書出力機能により、監査時に必要な仕様書作成工数がゼロに

ユーザーのひと言



従来の社内システムは、IBM iを中心に構成していたので、ERP刷新プロジェクトが始まったときは、ERPと周辺システム間の連携をどのように対応すればよいかまったくイメージが湧きませんでした。そんな時ASTERIA Warpを知り、ノーコードでこんなにも柔軟な開発ができるのかと驚きました。さまざまなシステムとの連携がとても簡単にできるので、今後、機能の追加や新しいシステム導入時にも迅速に対応できる柔軟なシステムを構築することができました。

インフォメーションシステム部 マネージャー 横尾 広昭様

User Profile

ACUSHNET JAPAN, INC.



所在地：東京都港区北青山2丁目11番3号 A-PLACE青山

会社概要：米アクシネットカンパニーの日本法人で、ゴルフ用品ブランドであるタイトリストとフットジョイの商品を取り扱う。

業種：卸売業、小売業

URL：https://www.titleist.co.jp/